

平成 26 年度 第 5 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 1 月 16 日 18:30～

出席者：兼子、浅野、藤井、柴、多和田、近藤、鈴木敦、白井、森本

欠席者：諏訪

議長：兼子 徹

議事録：藤井

【連絡事項】

1 日臨技より

来年度都道府県技師会助成金事業についての連絡

- ① 新入会員研修会助成金：本年と同様（1 万円+500 円×新入会員数）。
- ② 生涯教育助成金
*2 万円+500 円×参加者数（最大 60 名まで）。最大 20 研修会までに変更。
*検査説明については本年度と同様（平成 28 年度まで継続）
- ③ 検査と健康展助成金：本年と同様（50 万円）。
- ④ 総会委任状回収手数料：本年と同様（回収枚数 1 枚および出席者 1 名につき 50 円）
- ⑤ 標準化都道府県助成金：本年と同様（今後具体的な内容を提示）。
- ⑥ 基幹施設助成金廃止
との予算案の報告があった。

東京都がん検診センター細胞検査士養成所第 37 期生の募集案内

募集人数 12 名程度

受講期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 10 月 30 日まで。

受講料金 56 万円・補講料 2 万 5 千円

の案内があった。

黒住医学研究振興財団、細胞検査士養成所から「福見秀雄賞」・「小島三郎記念技術賞」の推薦のお願いがあった。福見秀雄賞は、臨床検査・衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ、後進の育成に貢献のあった物に送られる賞、小島三郎記念技術賞は臨床検査・衛生検査領域において優れた検査方法、術式の考案改良を行い、検査技術の普及発展に功績のあった者に送られる賞。

日臨技ホームページに輸血テクニカルセミナーの募集要項を掲載し、参加者募集案内あり。指導者向け講習会との意見があった。

【中部圏支部】

IFBLS が 2016 年に神戸で開催されるため、中部圏支部長より構成メンバー案が提示され、兼子会長がメンバー案の中に入っていたが業務上困難であり、とりあえず岐阜県から 1 名出すとの返事をし、1 月 23 日までに選出する事となった。

【岐臨技】

2015 年の予算案の中でホームページの予算案を仮契約で行ったため、増額するとの報告があった。

種村さんを労働保険に入れ、1 月から適正な給料の支払いをするとの報告があった。

事務の仕事が種村さんしか分からない事が多く、もう 1 名仕事の把握できる人を作らないといけないとの会長より意見があった。

近藤理事より、1 月 15 日前後に技師会のメールサーバーがパンクしたとの報告があった。対策として、サーバーの容量を 1M 増設した。また、2 週間たったらメールを削除するように設定したとの報告があった。

【学術部】

近藤学術部長より平成 26 年度（中部圏）支部研修会決算書の報告があった。

研修会収入合計が 1,782,000 円、研修会支出合計が 1,781,986 円で 14 円の黒字になったとの報告があった。

生物化学分析部門研修会が平成 27 年 3 月 14 日に行なわれる予定で、外部講師として、岡田 元先生に「共用基準範囲」についての講演、講師料 2 万円、交通費 1 万円との報告があり承認された。

岐阜県臨床検査技師会誌は発行を少し延長いるが、3 月末までには発送する予定との報告があった。生物化学分析部門で中村真大先生、臨床微生物部門で後藤雪乃先生、臨床生理部門で石郷景子先生が投稿されるとの報告があった。広告協賛は取れたら取る事となった。

「平成 27 年度秋季拡大研修会」日時：平成 27 年 11 月 24 日（日）と「第 54 回岐阜県医学検査学会」日時：平成 28 年 3 月 13 日（日）に岐阜医療科学大学で開催予定の案が提出され承認された。

平成 26 年度・班長副班長会議で、血液で部門員を増やす方向で、可児とうのう病院の上野先生、木沢記念病院の岡本先生を 4 月から部門員として承認を得た。

【精度管理】

多和田精度管理部長より平成 26 年度精度管理報告会及び特別講演の共用基準範囲についての報告があった。また、今回の講師である日臨技副会長の松本祐之先生と会終了後に意見交換会の場を設けたいとの意見があった。松本副会長の講師料 22,274 円、交通費 3,341 円の申請で、承認された。

岐臨技の精度管理で救済日を設けたため、結果を変更した施設があった。救済後の再評価をしなかった部門があったため、正解なのにDの評価になっている施設があり、再評価をして郵送するとの報告があった。

【組織調査部】

臼井組織調査部長より「検査と健康展」は現在タイムスケジュールを作成中で、場所も現在検討中との報告があった。

1月31日に行なわれるHIV検査会は、参加人数は合計6名で、岐阜地区の女性技師で、県総合で2名、岐阜大学2名、西濃保健所1名、臼井組織調査部長1名で行うとの報告があった。来年度からは男性技師でも可能との報告があった。

平成26年の表彰について、功労者表彰は対象者3名の報告あり。池井戸重廣先生、遠藤友啓先生、横山裕子先生で、岐臨技規定では、60歳以上、30年以上在籍、役員を6年以上の条件を満たし、今度の定期総会の時に表彰を行うとの報告があった。記念品と賞状は従来通りで行うとの報告があった。永年表彰187名の対象者。規定では、在籍25年以上、50歳以上で、今回初めてという事で対象者が多いとの報告があり、一人あたり1,000円の図書カードを組織調査部の予算として申請の承認を求められ承認された。表彰は総会時代表者が表彰される。今後日臨技と重なるところがあるため今後検討の余地があるとの意見があった。

リ克雷ーションの予算は今回は見送りとした。

【広報宣伝部】

森本広報宣伝部長よりホームページの値段が1月から正規（本契約）の値段になるとの報告があった。

広報誌に精度管理報告会の案内を載せたとの報告があった。資料集が今回からダウンロードして持参する事で、申し込みなしで当日参加でもかまわないとの報告があった。

ホームページの簡単な使い方マニュアルをホームページの載せる予定との報告があった。ホームページの写真（コスモス）を変える意見があり、季節的な写真に変える事にした。

【法人対応部】

鈴木法人対応部長より法人対応部は、法人立ち上げが終了し、今後どうするかの問題定義があり、今後の課題となった。

【会計部】

柴会計部長より平成26年度 一般社団法人岐阜県臨床検査技師会財産目録の報告があった。

現在の固定資産合計 18,359,838 円、負債合計 4,209,071 円、正味財産 14,150,767 円。経営収益合計では、予算額が 12,137,500 円、中間決算額が 5,643,494 円、増減が 6,494,0006 円。経常費用合計では、予算額が 12,797,501 円、中間決算額 4,742,055 円、増減 8,055,446 円との報告があった。

正味財産増減計算書については、前年度とほとんど変わらないとの報告があった。

貸借対照表についても前年度とほとんど変わらないとの報告があった。

【庶務部】

藤井庶務部長より会員名簿の進捗状況の説明があり、あとはチェックして印刷にまわす状況との報告があった。

第 3 回常務理事会議事録と第 4 回理事会議事録がホームページにアップされたとの報告があった。

【その他】

浅野副会長より第 53 回岐阜県医学検査学会の進捗状況についての説明があった。



演題数が 18 題、協賛が最終的には 10～11 社になるとの報告があった。

座長も全て決まり、抄録も揃いましたので、今月末に校正にかかる予定との報告があった。

教育講演の後に岐阜大学の正島先生より検査医学会のお願いの話を 10 分程度入れるとの報告があった。

市民公開講座のポスターを作り宣伝をするとの報告があった。

臼井理事より県知事表彰は今年もなしとの報告があった。

議長	兼子 徹	
議事録署名人	浅野 敦	
議事録署名人	諏訪 浩	